景況レポート

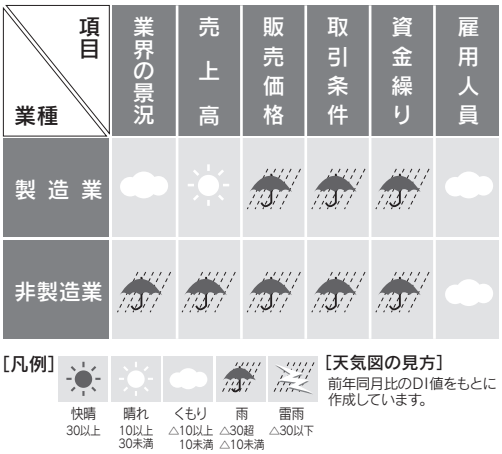
（7月分・情報連絡員80名）

製造業、非製造業ともに悪化割合が縮小

【概況（全体）】7月分の県内景況は、業界全体の景況DI値が－15.0となり、前月調査と比較して7.5ポイント上回った。これは、製造業、非製造業ともに「悪化」割合が縮小したことによるもので、項目別では、売上高や資金繰り、設備操業度（製造業のみ）等が上昇した。

業種別の主な業況は、製造業では、前月に引き続き繊維工業（繊維製品）、鉄鋼・金属において前年同月比で「好転」となったほか、今月に入り食料品において一部の業種が「好転」となったため「悪化」割合が縮小し、DI値が改善した。

一方、非製造業では、前月に引き続き卸売業（青果）や建設業（電気工事）において前年同月比で「好転」となったほか、今月に入り運輸業も前年同月比で「好転」となり、小売業や建設業において「悪化」割合が縮小したため、DI値が大幅に改善した。



なお、原材料等コストの増加が依然として収益を圧迫しているほか、個人消費の低迷や公共工事、住宅着工等の需要の減退による受注の減少など懸念材料も散見され、引き続き今後の動向を注視していく必要がある。

【概況（製造業）】製造業のDI値は－3.2と前月調査と比べ3.1ポイントアップし、5ヶ月連続で改善した。

○機械金属や鉄鋼では、公共工事や民間工事が動き出し、売上・収益ともに好転した。

○食料品では、味噌・醤油及び清酒の売上が前年同月を上回り「好転」となったが、景気回復を実感できるまでには至っていない。

【概況（非製造業）】非製造業のDI値は－22.9となり、前月調査と比べ10.4ポイントの大幅改善となった。

○運輸業では、燃料価格の低下により前年同月比で収益が改善した。

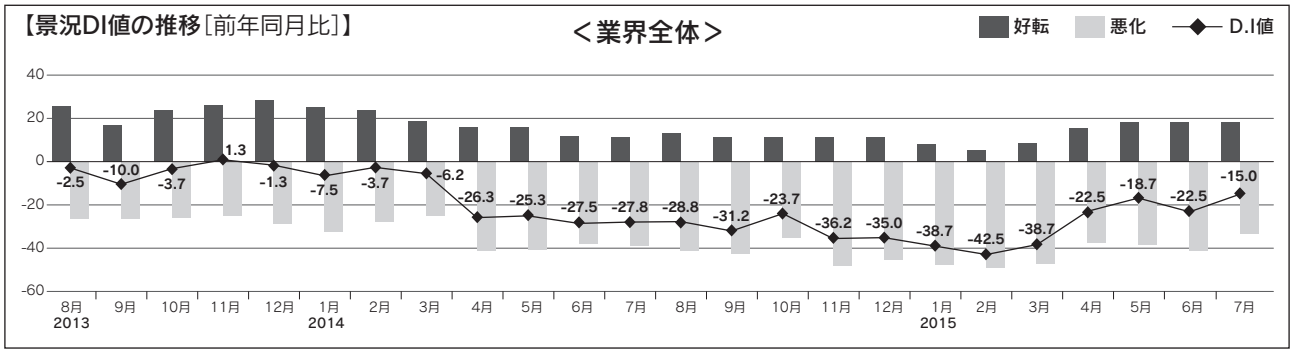
○公共工事の発注状況について業種や地域により差があるが、県北地区の管工事と県南地区の電気工事において公共工事・民間工事ともに受注が好調となっている。

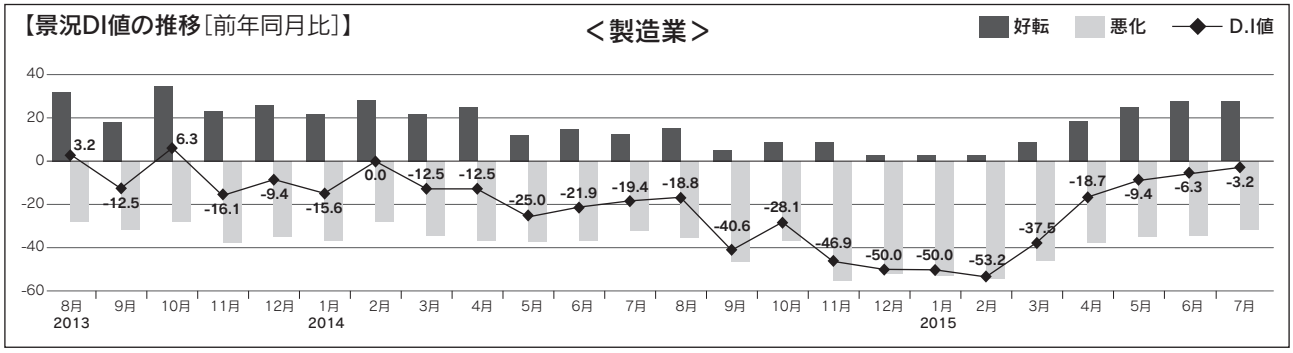
※DI値とは、Diffusion Index（ディフュージョン・インデックス）の略で、増加（好転）したとする企業割合から、減少（悪化）したとする企業割合を差し引いた値です。

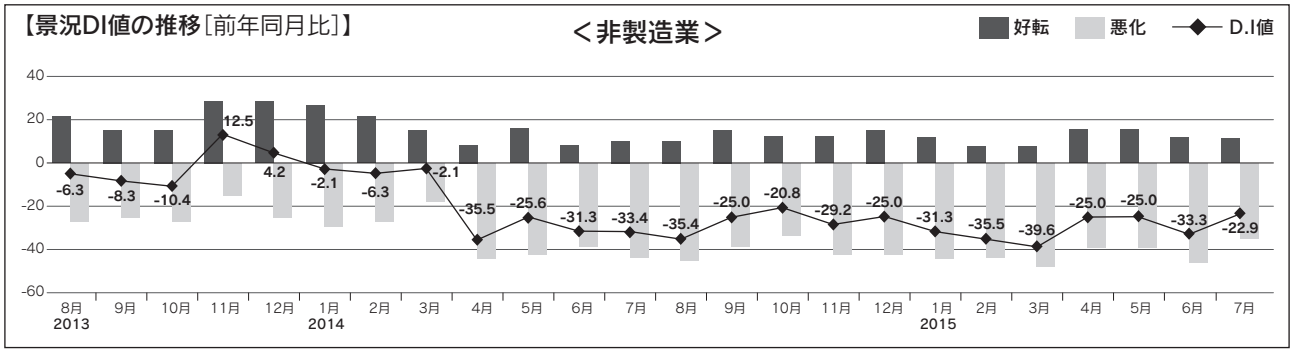
【業界の声】 ～製造業～

（回答数：32名　回答率：100%）

食料品（精穀・製粉）	繁忙期を迎え、組合員の原料調達の動きは例年並みとなっているが、原材料価格の高騰等により売上・収益は非常に厳しい状況が続いている。
繊維工業（ニット）	秋物の生産が始まっているが、婦人服の市場動向は全般的に低調であるため加工賃の上昇が見込めず、各社とも採算の確保に腐心している。また、婦人服についてはインバウンド需要が欧米ブランドに偏っており、国内アパレルが主要取引先である工場にとっては、恩恵を受けにくい状況となっている。
繊維工業（繊維製品）	生産アイテムにより受注状況にばらつきがあるが、期中の追加発注が見られるなど、売上は前年同月比で好転している。（中央地区、県南地区）
木材・木製品（一般製材）	県内の新築住宅着工数は依然として低迷しており、景気回復の兆しは見られないが、当組合では関東地方からの注文が増加したため、過去最高の売上高を記録した。（中央地区）
印刷	総体的に景気が回復しているという実感はなく、得意先の動向を見ても消費の落ち込みが続いている。（中央地区）
窯業・土石製品（生コンクリート）	7月の出荷数量は前年同月比78%、4月～7月の累計では前年比81%と低調に推移しており、大型物件も少ないことから先行きは不透明である。また、原材料が値上がりしているため価格改善が不可欠となっているが、需要が少ない状況の中での値上げは難しく、厳しい局面に立たされている。
鉄鋼・金属（鉄鋼）	民間・公共工事とも発注物件が多くなり、各社とも100%以上の稼働率となっており、売上、収益とも前年同月比で好転した。
一般機器（金属加工）	売上については前年同月比で増加しているが、大幅な伸びとはなっておらず、下請、孫請企業においては依然として収益面で厳しい状況が続いている。
その他の製造業（漆器）	工芸館の来館者数は前年同月比で増加しており、売上も記念品等の需要があったため前年同月比で20%の増加となった。8月のお盆期間に企画展を開催する等、更なる集客を図っていく。







【業 界 の 声】 ～非 製 造 業～

（回答数：48名　回答率：100%）

卸　売　業 （商　業　卸）	一部の企業では前年同月比で売上が増加しているが、消費の低迷等により横這いもしくは減少となっている企業が多い。なお、依然として仕入コストの上昇分を販売価格に転嫁するのが困難な状況が続いている。（秋田市）
卸　売　業 （青　　果）	7月の売上は、前年同月比109.9%で推移した。高温の影響により野菜や果物の生育が悪く、出荷量が非常に少なかったため高値で取引されており、前年同月比で収益は増加している。
小　売　業 （石　　油）	ガソリンの小売価格は1ℓあたり138円30銭で前月比4円70銭の値下がり、軽油は1ℓあたり同2円の値下がり、配達灯油も18ℓで同22円の値下がりとなっている。なお、仕切価格の下がり幅に対し小売価格の下がり幅が小さかったため、収益は改善した。
商　店　街	家電小売では冷房機器の買換等の需要があったため、売上が前年同月を上回った。また、酒類販売では地酒の売上が好調に推移している。（秋田市）
サ ー ビ ス （旅　　行）	国内旅行の売上は前年同月比98.0%、海外旅行は同87.6%とほぼ平年並みに推移した。なお、「秋田市プレミアム付き商品券」で旅行券が購入できることをPRした一部の組合員は、旅行券の売上げが前年同月比117～130%と増加した。
建　設　業 （管　工　事）	官民工事の受注額が増加していることに加え、今後も発注が見込まれるなど、業況は前年同月比で好転している。（大館市）
建　設　業 （電気工事）	前月同様、公共工事が順調に発注され、また、民間需要もあるため受注量が多い状況で推移している。なお、電気工事士不足のため、資格を持たない新人の雇用も増えている。（大仙市）
運　輸　業 （トラック）	県内産の野菜や果物の出荷が始まったが、全体的な荷動きは前年並みでとどまっている。なお、燃料価格が低下しているため、収益は前年同月比で改善している。（中央地区）
その他の非製造業 （砂利採取）	公共工事、民間工事ともに低調に推移しており、骨材の出荷量は前年同月比で約30%減少と大幅に落ち込んでいる。（県南地区）